

受動喫煙防止啓発ポスターデザイン作成・印刷業務委託

仕様書（公募用）

- ・この仕様書は、企画提案書作成用である。
- ・企画提案競技後、埼玉県は契約先候補者と協議を行い、協議が整った場合は仕様書を契約先候補者の企画提案内容に合わせ修正の上、契約を締結する。

1 業務名

受動喫煙防止啓発ポスターデザイン作成・印刷業務委託

2 目的

受動喫煙とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙を吸い込んでしまうことを指し、健康増進法では、望まない受動喫煙を生じさせないように特定施設の管理者が講ずるべき義務を規定している。また同法では、屋外場所や家庭内においても喫煙時には周囲の状況へ配慮する義務も規定している。こうした状況から屋外や家庭内でも喫煙時の周囲への配慮が求められていることを周知し、喫煙の際に周囲への配慮や 20 歳未満者への受動喫煙防止を意識することができるようなポスターのデザインを作成するものである。

3 期間

契約締結日から令和 8 年 3 月 17 日（火）

4 業務の概要

- (1) 3 種類の場合での受動喫煙対策を周知するポスター用（縦・横）のデザイン作成
※3 種類のポスター（縦・横）、計 6 種類のデザインを制作すること。
 - ア 駅周辺における受動喫煙
 - イ 集合住宅における受動喫煙
 - ウ 20 歳未満者への受動喫煙
- (2) 作成したポスターの印刷及び県が指定する場所への納品

5 デザイン作成に当たって考慮すべき視点

本デザイン作成に当たっては、次の内容を考慮して提案すること。

- (1) 健康増進法は平成 30 年に改正され、望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する（※ 1）施設等の区分に応じ、当該施設等の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、当該施設等の管理について権限を有する者が講ずべき措置等について定められた。
 - ※ 1 「多数の者が利用する」とは、2 人以上の者が同時に、又は入れ替わり利用する施設を意味する。
- (2) 改正後、健康増進法第 27 条（喫煙をする際の配慮義務等）では、喫煙禁止場所以

外の場所においての喫煙に関し、喫煙者や灰皿の設置者は望まない受動喫煙を生じさせないよう配慮しなければならないとされている。また、施設の管理権限者は、喫煙をすることができる場所を定めようとするときは、望まない受動喫煙を生じさせることがない場所とするよう配慮しなければならない。」と定められた。

- (3) 改正法では、施設における事業の内容や経営規模への配慮から、施設の類型・場所ごとに、喫煙のための各種喫煙室の設置が認められている。また、喫煙可能な設備を持った施設には必ず、指定された標識の掲示が義務付けられている。紛らわしい標識の掲示、標識の汚損等については禁止されており、罰則の対象となる。
- (4) 喫煙エリアに関して 20 歳未満の方は、たとえ喫煙を目的としない場合であっても、喫煙エリアへは一切立入禁止となる。たとえ従業員であっても立ち入らせることはできない。万が一、20 歳未満の方を喫煙室に立ち入らせた場合、施設の管理権原者等は指導・助言の対象となる。

(参考) <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/kitsuentaisaku/judokitsuen.html>
(埼玉県受動喫煙防止対策 HP)

6 委託業務内容

(1) デザイン作成

ア 内容

- ・ デザインについては、ポスター用（表面のみ）として、それぞれ下表のとおり活用することを想定していること。また、それぞれの活用方法を踏まえ、概ね下表の掲載内容を想定していること。

①ポスター（A2 縦での作成を想定）「駅周辺における受動喫煙」
<活用方法> <ul style="list-style-type: none">・ 県庁や関係機関の施設、駅（中・周辺）、飲食店等に掲出し、喫煙者や施設利用者に対して、喫煙時の配慮及び受動喫煙防止対策の周知を図る。
<掲載内容（「表面」のみ）> <ul style="list-style-type: none">・ 「その喫煙 困っている人がいるかも。。」を表題とする。「困っている人」を強調するデザインを想定。 デザインの趣旨説明として、 【！法律で定められています！ ★健康増進法第 27 条（喫煙者の配慮義務） 「何人も、喫煙をする際、望まない受動喫煙を生じさせることがないよう<u>周囲の状況に配慮しなければならない（抜粋）</u>」】を入れ、「周囲の状況に配慮」を強調するようなデザインを想定。・ 背景は駅前周辺の街並みとする。駅前では会話をしている人（大人 2 名・迷惑そうな表情）がおり、その横に立ち止まって喫煙をしている人 2 名。駅前で並んで歩くこどもたち（幼児 2 名・迷惑そうな顔）がおり、その横に歩きたばこをしている人 1 名。男女数が均等となるような人数比とする。喫煙者（合計 3 名）の煙が非喫煙者に届いてしまい、迷惑そうな表情をしている様子がわかるようなデザインを想定。・ 県章（イラスト）、「彩の国 埼玉県」（文言）及び埼玉県マスコットキャラクター「コバトン」「さいたまっち」（イラスト及びコピーライト）を配置すること（配置等は別添「4 点セット」参照）。（キャラクターデータ・県章データは支給）・ 印象に残るようなデザインにすること

- ・ その他県からの要請を満たす内容であること

②ポスター（B3 横での作成を想定）「駅周辺における受動喫煙」

<活用方法>

- ・ 県庁や関係機関の施設、駅（中・周辺）、電車内、飲食店等に掲出し、喫煙者や施設利用者に対して、喫煙時の配慮及び受動喫煙防止対策の周知を図る。

<掲載内容（「表面」のみ）>

- ・ ①ポスターと同一デザインとすること。ただし、縦と横の差異を踏まえ、それぞれでデザインの一部やレイアウトを変えた方がいい場合は、異なるデザインを提案して差し支えないこと。

③ポスター（A2 縦での作成を想定）「集合住宅における受動喫煙」

<活用方法>

- ・ 県庁や関係機関の施設、集合住宅、駅（中・周辺）、電車内、飲食店等に掲出し、喫煙者や施設利用者に対して、喫煙時の配慮及び受動喫煙防止対策の周知を図る。

<掲載内容（「表面」のみ）>

- ・ 「その喫煙 困っている人がいるかも。。」を表題とする。「困っている人」を強調するデザインを想定。

デザインの趣旨説明として、

【！法律で定められています！

★健康増進法第 27 条（喫煙者の配慮義務）

「何人も、喫煙をする際、望まない受動喫煙を生じさせることがないよう周囲の状況に配慮しなければならない（抜粋）」を入れ、「周囲の状況に配慮」を強調するようなデザインを想定。

- ・ デザインの内容として、背景はアパートやマンションの集合住宅のベランダとする。喫煙者 1 名がベランダで喫煙をしている様子。その喫煙の煙が周囲の住民全員に届いてしまっている様子。住民は、高齢者・家族（幼児含む）・乳児・若者とし、男女数が均等となるようにする。ベランダからそれぞれの状況を確認できるようなデザインとする。
- ・ 県章（イラスト）、「彩の国 埼玉県」（文言）及び埼玉県マスコットキャラクター「コバトン」「さいたまっち」（イラスト及びコピーライト）を配置すること（配置等は別添「4 点セット」参照）。（キャラクターデータ・県章データは支給）
- ・ 印象に残るようなデザインにすること
- ・ その他県からの要請を満たす内容であること

④ポスター（B3 横での作成を想定）「集合住宅における受動喫煙」

<活用方法>

- ・ 県庁や関係機関の施設、集合住宅、駅（中・周辺）、飲食店等に掲出し、喫煙者や施設利用者に対して、喫煙時の配慮及び受動喫煙防止対策の周知を図る。

<掲載内容（「表面」のみ）>

- ・ ③ポスターと同一デザインとすること。ただし、縦と横の差異を踏まえ、それぞれでデザインの一部やレイアウトを変えた方がいい場合は、異なるデザインを提案して差し支えないこと。

⑤ポスター（A2 縦での作成を想定）「20 歳未満者への受動喫煙」

<p><活用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> 県庁や関係機関の施設、飲食店、駅（中・周辺）、電車内、集合住宅等に掲出し、喫煙者や施設利用者に対して、喫煙時の配慮及び受動喫煙防止対策の周知を図る。
<p><掲載内容（「表面」のみ）></p> <ul style="list-style-type: none"> 「こどもの健康は大人の責任 守ろう<u>こどもの受動喫煙</u>」を表題とする。「こどもの受動喫煙」の部分強調するようなデザインとする。 デザインの趣旨説明として、「大人が同席していても・・・大人が許可をしても・・・喫煙可能な場所には<u>20歳未満は立ち入れません</u>」を入れ、その横に「20歳未満立ち入り禁止のマーク」を入れ、「喫煙可能な場所」・「20歳未満は立ち入れません」を強調したデザインを想定。 家族や喫煙者が店舗の掲示を見て、選択している様子が分かる デザインの内容として、背景は商店街の街並みとする。飲食店が2店並んでおり、片方の飲食店は何も表示しておらず、もう片方の飲食店は「20歳未満立ち入り禁止のマーク」と「喫煙専用室ありのマーク」を掲示している。（※マークは画像資料より提供） 飲食店（2店舗）の前には、家族（幼児を含む、楽しそうな表情）と喫煙者（大人2名、楽しそうな表情）がおり、家族は何も掲示していない飲食店の方を選択し、喫煙者は喫煙可能な標識を掲示している店舗を選択している様子を強調するようなデザインを想定。 県章（イラスト）、「彩の国 埼玉県」（文言）及び埼玉県マスコットキャラクター「コバトン」「さいたまっち」（イラスト及びコピーライト）を配置すること（※配置等は別添「4点セット」参照）。（キャラクターデータ・県章データは支給） 印象に残るようなデザインにすること その他県からの要請を満たす内容であること
<p>⑥ポスター（B3縦での作成を想定）「20歳未満者への受動喫煙」</p>
<p><活用方法></p> <ul style="list-style-type: none"> 県庁や関係機関の施設、集合住宅、駅（中・周辺）、飲食店等に掲出し、喫煙者や施設利用者に対して、喫煙時の配慮及び受動喫煙防止対策の周知を図る。
<p><掲載内容（「表面」のみ）></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ポスターと同一デザインとすること。ただし、縦と横の差異を踏まえ、それぞれでデザインの一部やレイアウトを変えた方がいい場合は、異なるデザインを提案して差し支えないこと。

- デザイン作成に要する全ての経費は、委託料に含めること。
- デザイン作成に当たっては、企画提案競技を経て決定した内容を基本として、本県と協議により詳細事項を決定し、制作を進めること。そのため、文章等の修正を指示する場合があること。

イ 規格・印刷部数等

A2縦（3種類各80部、計240部）、B3横（3種類各152部、計456部）
※いずれも「片面4色刷り、マットコート紙、135Kg」とする。

ウ 校正

受託者は、本業務の目的等を理解・尊重し、適宜本県の指示に従ってデザイン作

成を行うこと。また、本県が校了と判断するまで、校正を行うものとする。

(2) 納品場所・方法・期限

ア 本業務で作成したデザインについて、本県が指定する方法により、健康長寿課宛てに電子データ・ポスターを納品すること。

イ デザインデータの形式は、jpeg、png、ai 及び pdf とすること。

ウ デザインデータの納品は、校了後速やかに行うこと。

エ ポスターの納品については、校了後印刷を速やかに行い、健康長寿課（他 13 か所）宛てに納品とすること。（納品先及び部数一覧を参照）

オ ポスターの納入期限は、令和 8 年 3 月 17 日（火）までとする。

具体的な納品日は後日協議し、指示する。

(3) 実施体制等

ア 本業務を円滑に進めるため、熟練した専任の担当者（以下「専任担当者」という。）及びデザイナーほか必要なスタッフを置くこと。

イ 専任担当者は、本県との密接な連絡・調整の下、本業務の進行管理を確実に行うこと。

ウ 本事業の確実な実施に向け、綿密な打合せを行うこと。

7 留意事項

本業務を行うに当たって次の各事項に留意すること。

- (1) 業務執行体制、業務内容及び事業スケジュール、詳細等を示した実施計画を策定すること。なお、実施する業務内容については、事業者から提案された内容をもとに本県と協議の上決定する。
- (2) 本業務の実施に必要な能力、資格、経験を有する業務責任者および作業者を定めるとともに、業務実施体制を明らかにすること。また受託期間中は、専任の担当者（県との連絡調整担当者）を配置し、常時連絡を取れる体制にすること。
- (3) 業務実施にあたり必要となる一切の経費は受託者の負担とする。
- (4) 委託業務の全部又は一部を他に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ本県の書面による承認を得た場合は、この限りでない。
- (5) 業務の遂行にあたっては、本県と十分協議・連絡をとること。

8 成果物に関する権利の帰属等

- (1) 本業務で制作する著作物の著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）は、全て県に帰属する。
- (2) 受託者は、本県（本県が許可した者を含む。）に対して、本業務の履行に伴い発生する著作物に対する著作権者人格権を行使しないものとする。
- (3) 本業務の履行に際して、映像、イラスト、写真等について第三者が権利を有するものを使用する場合、第三者との間で発生する著作権その他知的財産権に関する手続や使用料等の負担と責任は全て受託者が負うこと。

なお、本業務で制作したデザインについては、今後本県でチラシ・ポスターとして別途印刷（外部委託を想定）することから、当該利用形態に支障を及ぼさないようにデザインを制作すること。

- (4) 著作物については、本県が必要と判断する目的に使用できるとともに、本県が認める第三者に使用させることができるものとする。

なお、本業務で制作したデザインについては、今後本県でチラシ・ポスターとして別途印刷（外部委託を想定）する予定であること。

- (5) 受託者は、本業務で制作する著作物が第三者の著作権、プライバシー権、名誉権、パブリシティ権その他いかなる権利をも侵害しないことを保証すること。万一、著作物に関して、第三者から権利の主張、異議、苦情、対価の請求、損害賠償の請求等がなされた場合、受託者は自らの責任と費用負担においてこれを処理解決するものとし、本県に一切の迷惑損害を及ぼさないものとする。

9 その他

- (1) この仕様書に定めるもののほか、業務の実施に関し必要な事項は、本県及び受託者双方が協議して決定する。
- (2) 県が受託者を決定した後、委託契約に当たり、この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、本県及び受託者双方で協議し対応を決定する。